

新聞書き方講座を受けて

新聞の書き方を学びどのようにして作るのか
や写真の撮り方も学び話を聞いて同感
しました。トライやるウィークでのメモのとり方
を分かりこれで安心して取っ払いができ
ると思えました。せっかく話を聞いた
ので無駄にしないように取っ払いよう
と思えました。今まではあまり深く考えず
に新聞を書いていましたが話を聞いて
深く考えることができ分かりやすく書くこ
とができるとよかったですと思えました。

新聞書き方講座を受けて

新聞はなにかすこくめちやくちと奥が深
いことがわかりました。

新聞を書く時に何かめちやくちと
でかいに見える人が分かつて死工夫が
されていて「なにかすこくな」って思
いました。

なので「トライやる」ウィークが
かんばって新聞を開いたこと
を使って上手に書きたい
なと思いました。

新聞書き方講座を受けて

僕は新聞を作るのに一番がんばりたいことは、インタビューです。僕は初めて会う人や知らない人と話すのが苦手でトライやる・ウィークで会う事業所の人には1週間お世話になるけど、仲良くなるわけじゃないのでインタビューではできるだけその場を盛り上げて楽しくできるように(教えてもらったよう)にしたいです。

新聞の書き方で一番驚いたのは、インタビューなどをしてから早く新聞を書くことです。インタビューをしてから頭の中で少しこうせいを考えてから書くんじゃなくてもうすぐ書いてそれで誤字もなく新聞を作るのにおどろきました。新聞を書いていて誤字があると周りの人の信用を失うと知った(自分も気おつけたい)新聞書き方講座で学んだことを生かして作れるようにしたいです。

私は新聞の書き方講座を受けてインタビューやメモまで全部のこうていが大切な人だなと思いました。インタビューでも相手の質問からとんとん話を広げていて、メモでは重要な所を相手の話のなかから探してかじょうがきのようにかいたりしていました。新聞は浅く質問した内容をたくさんかくのではなく、そのものごとをできるだけ深くほりさげてできるだけおしくかくのが大事な人だと思いました。今回の講座を受けて新聞をかく前段階の準備も大切なことが分かったのでどの作業もできるだけ真剣にとりくんでいい新聞がかけたらいいなと思いました。だから講座の内容をしっかりと返って一つの作業の大切な所をまとめ、この講座をいかしていけるようにしていきたいです。

新聞は、どこにどんな写真をつけるか、どこに何の話題を
もってくるか、インタビューは、SWITHがとても大切にメモ
は自分が感動したところに印をつけて後で分かりやすくする
とかたくさん工夫がされていることを知って、とてもすごい
なと思いました。私が今まで書いてきた新聞と売られて
いる新聞と何がちがうのだろうと思っていた疑問も今日
のお話を聞いて分かった気がします。もっと色々なことを
こだわって新聞はつくられて読者に届くんだと分かりました。
私が今回この講座を受けて、一番心に残ったことは、よい
写真のとり方です。今までは、一番とりたいものを中心
にしてとるのがよいと思っていたけど、中心じゃなくて少し
ずらしたりする方がかこよく見えるし、全方向からもとらない
といけないし、インタビューの人の写真は動いている途中を
とったらインタビューをうけてる感じがよく見えて、すべてのこと
にびっくりもしたし感じましたからです。これらのことを
トライやる・ウィークの新聞に活かしたいと思います。

新聞書き方講座を受けて

インタビューの仕方、新聞の記事の書き方について、色々学びました。インタビューをするときは、①下調べを以て質問することもあります。(完ぺきにほしえない)②段取りを決めすぎないことなどがあります。また、事前に考えておく質問は、3つで質問するときは、7分という姿勢で臨んだらいいということが分かりました。質問のなかでも、オープンクエスチョンとクローズドクエスチョンがあり、混ぜて使うことが良いと学びました。記事になるように、具体的に聞いた、変化も聞いた、比較して聞くことが大切です。先入観にとらわれないことも大切です。インタビューを楽しんでいただき、最後までめきめきないように頑張ることです。記事を書くときは、4つ大切なおことがあり、1つめは、SWIHで、文字を書くこと、2つめは、見出しで興味を引くこと、3つめは、喜びを自分の言葉で書くこと、4つめは、字の大きさ、形、色を工夫することです。などと色々学びました。このほかにも、たくさん学びました。私はこの中で記事を書くときSWIHを使って書いたら良く書けるということに驚きました。新聞ではないけど、何かの記事を書く勉強が、いくつかあり、そのような課題に毎回、毎回「すごくなやんで書いていましたか」、SWIHを記事に書くときに使おうと、おらすら書けそうだなと思っていました。このように、今回で学んだことを、トラヤル、ワークへ行っ、新聞を書くときに、

りかいたこと
思いました。

新聞書き方講座を受けて

新聞書き方講座を受けて思ったことは、インタビューをおこなうは、一つの話から、話を広げていくことが大事な点だと思いました。私も用意していた質問に答えて、それをインタビューから採るっていうのもありかもしれないけれど、話の内容をふまえた上で質問をしたほうが読者読者時、具体的に、分かりやすいと思います。記者自身が「何が伝わると思うので、インタビューでは質問の内容をふまえた上で、もっと質問をできたらなと思います。そして、タイトルにも工夫を入れていけるように思います。また、前記前のことだけだと、あいさつや礼儀を大切にしたいと思います。

新聞を作成するときには、濃く濃い文字で書いて、その書いた文章を見直して、誤字、脱字がないかというのを確認をしたいと思います。

インタビューではおろかじめ、下調べをしてインタビューをおこなう。ニュースを書くとき、5W1H(何、どこ、いつ、どこ、誰、なぜ)を取り入れて、新聞を書きたいと思えます。

僕は新聞書き方講座を受けて、教えて下さったことを生かし、インタビューの仕方から記事の書き方などを工夫して、一年外にわかりやすく伝えていきたいと思いました。

僕が行く所はスーパーでけっこう知られているけれど、だからこままちりと伝え、わかりやすい記事を書きたいです。

具体的にインタビューでは、下調べをほどほどにして、あらかじめ聞きたいことを絞ること、また記事を書くときには、レイアウトを工夫することや、目立ちやすく見立しにすることを意識していきます。

あとは、誤字や脱字、虚の情報がないかなどのミスに注意していけば、わかりやすい記事が書けると思いました。

このトライやる・ワークを通して、自分が体験して終わりにするのではなく、それをしっかりと伝えていくことが重要だと感じました。

新聞書き方講座を受けて

○ 新聞の書き方にコッパ色々な事(インタビューの仕方、写真の取り方)などを教えてもらい、新聞を作るには1つ1つを大切にしていり分りやすくするのが大事なんだなと思っした。

○ 今日、教えてもらい、1事を新聞を作る時に役立てて、今まで一番良い物を作って次の2年生産が見てよく分り易くしたんです。

↳ そのために、1つ1つを忘れないように、トライ＆エラーで行く所では人とインタビューを取りより良く作るように頑張ったんです。

○ 色々教えてもらったけど、初めて知る事などもあるのだから新聞作りだけではなく、この先(今後)の役に立つように取り組んでいきたいです!!

○ 見出しの書き方など、あまり分り易い事ばかりではなかったから、新聞を作る時には皆が読めたと思うように見出しにして、その見出しにあつた写真や文を書けるように1日1日を大切に、より細かい事を教えてもらって分り易くしたんです。

新聞の書き方講座を受けて学んだことを生かして
 トライやる・ウィークの新聞を良いものには合げたい
 です。学んだことは、4つあります。1つ目
 は、知ったかぶりせず、素直に「そうなんだ」
 と思ったことは伝えたり、話を聞いているときは、
 相づちを大切にし、相手のリズムに合わせてリ
 ードすることが大切だと思いました。2つ目は、先入
 観にとらわれない。インタビューを楽しみ、インタ
 ビュー後のこぼれ話もしっかりメモをすることが
 分かりました。3つ目は、新聞を書くときに、
 1行10文字〜15文字ぐらいがベストということ
 を知りました。(その時の行の長さにもよる...)の見出し
 をつける時に大切なのは、大切な情報だけで
 かんけつに。新聞で文を書くときに初めに大切な
 情報を持っていくことで、急に入ってきたニュースを
 文の後半部分を削ってニュースを持っていくことが
 できるからです。4つ目は、新聞を書くときに、編
 集後記など感想をかき、記事・写真は適量を
 心掛けて書きたりです。中々の事をトライやる・ウィーク
 では体験できるので、そのことをしっかりまとめたいです。

僕は新聞書き方講座を受けた。

トライオのウイークレモ、しかし、おれはニュー

して、そこで聞いたことを名カリです

い記事にしていきたいと思いました。

僕は新聞や作文を書くのが苦手で

今まで新聞を書くことはありません

が、ほぼ全て系内得のいかな記事

にしおが、ていきました。しかし、今日の

講座を受けなで、今更い系内得のい

かな記事しか書けなかつたのだらう

と思つて、た疑問が起てなりました

た。なので、今までより上手い

記事にできると思いました。

たが、僕は今日の講座を受け、常

かりが、記事にしていきたいと思

ました。

今回の新聞の書き方講座では、インタビューの仕方から写真の撮り方、見出しの付け方などを教えてもらいました。下調べでは完璧にしないことだったり、事前に考える質問を3つくらいにするなど、インタビューをする際に役立てていこうと思いました。6W2Hを意識してインタビューをしようと思います。また、具体的に、変化、比較して聞いてみようと思いました。相づちなどをして相手のリズムに合わせて話せたらいいと思いました。先入観にとらわれず、ゆくりと最後まであきらめずに取り組みたいです。写真を撮る時には三角形や逆三角形を利用したり、対象の物が中心にこないように色々な角度から撮ったり人が動いている時には連写をしてみようと思いました。記事の内容では重要なことを前に書いたり、誤った事を書かないようにメモを取る際に、相手に書いた字が誤った字では

新聞書き方講座に (1) 何と何の話を
 したいか 時間内に何をどう書くか
 (2) 何と何の話をしたいか 何と何の話を
 したいか 何をどう書くか (3) 何を
 どう書くか (4) 何をどう書くか
 (5) 何をどう書くか (6) 何をどう書くか
 (7) 何をどう書くか (8) 何をどう書くか
 (9) 何をどう書くか (10) 何をどう書くか
 (11) 何をどう書くか (12) 何をどう書くか
 (13) 何をどう書くか (14) 何をどう書くか
 (15) 何をどう書くか (16) 何をどう書くか
 (17) 何をどう書くか (18) 何をどう書くか
 (19) 何をどう書くか (20) 何をどう書くか
 (21) 何をどう書くか (22) 何をどう書くか
 (23) 何をどう書くか (24) 何をどう書くか
 (25) 何をどう書くか (26) 何をどう書くか
 (27) 何をどう書くか (28) 何をどう書くか
 (29) 何をどう書くか (30) 何をどう書くか
 (31) 何をどう書くか (32) 何をどう書くか
 (33) 何をどう書くか (34) 何をどう書くか
 (35) 何をどう書くか (36) 何をどう書くか
 (37) 何をどう書くか (38) 何をどう書くか
 (39) 何をどう書くか (40) 何をどう書くか
 (41) 何をどう書くか (42) 何をどう書くか
 (43) 何をどう書くか (44) 何をどう書くか
 (45) 何をどう書くか (46) 何をどう書くか
 (47) 何をどう書くか (48) 何をどう書くか
 (49) 何をどう書くか (50) 何をどう書くか
 (51) 何をどう書くか (52) 何をどう書くか
 (53) 何をどう書くか (54) 何をどう書くか
 (55) 何をどう書くか (56) 何をどう書くか
 (57) 何をどう書くか (58) 何をどう書くか
 (59) 何をどう書くか (60) 何をどう書くか
 (61) 何をどう書くか (62) 何をどう書くか
 (63) 何をどう書くか (64) 何をどう書くか
 (65) 何をどう書くか (66) 何をどう書くか
 (67) 何をどう書くか (68) 何をどう書くか
 (69) 何をどう書くか (70) 何をどう書くか
 (71) 何をどう書くか (72) 何をどう書くか
 (73) 何をどう書くか (74) 何をどう書くか
 (75) 何をどう書くか (76) 何をどう書くか
 (77) 何をどう書くか (78) 何をどう書くか
 (79) 何をどう書くか (80) 何をどう書くか
 (81) 何をどう書くか (82) 何をどう書くか
 (83) 何をどう書くか (84) 何をどう書くか
 (85) 何をどう書くか (86) 何をどう書くか
 (87) 何をどう書くか (88) 何をどう書くか
 (89) 何をどう書くか (90) 何をどう書くか
 (91) 何をどう書くか (92) 何をどう書くか
 (93) 何をどう書くか (94) 何をどう書くか
 (95) 何をどう書くか (96) 何をどう書くか
 (97) 何をどう書くか (98) 何をどう書くか
 (99) 何をどう書くか (100) 何をどう書くか

新聞書き方講座を受けて

私は今回の新聞書き方講座を受けて、初めて知れたことが2つあります。

1つ目は、写真にフリーズで、私はしつぱり、いい写真をとるためには、とりたい物を真ん中にしてとる方がいいと思っていました。だけど、ゴルフボールとかパスタの例を見てそうじゃないんだということが知れました。

2つ目は、逆三角形にフリーズ、今まで国語などで習ってきた文章は、最後に結論が書いてあるものの方が多かったけど、だけど記事なども書く時には、先に結論を書き、後で説明を加える逆三角形の方が、読者に的確に伝わりやすいということが知れました。

2つとも、初めて知れたことだけど、いい記事を書くのに大切な事だと思うので、覚えさせていただきます。

インタビューの仕事で「W11」などを学び、
 記事の書き方や記事の見出しなどやリ
 アウトの仕事も学びました。そして、偉かとは何か
 トラヤるはなに力について教えてもらい、は
 インタビューでは具体的や変化、比較をしな
 かり聞くことや先入観にとらわれず相
 手のリズムに合わせてることが分りました。
 聞き上手になるには「アツリ」は「ない」と
 が分りました。記事の書き方では、
 正確さや豊かさが大切で、見出しや
 逆三角形などを使うといいことが分
 かりました。
 これからトラヤるをやって新聞を作る
 ときには、新聞書き方講座の系譜を
 生かして新聞を書きたいと思ひます。

新聞書き方講座を受けて

私は今回の講座を聞いて、ただ書くだけでなく、
色んなことを考えて、書いていっていることがすこ
く大切なことだと分かり、新聞に關係すること
ではなくとも講座で教えたことを意識
できたかなと思えました。A>9ビュ-の時に教えら
れたことは仕事などで聞いたりする時や、めうえの
人とはなったりする時に使うかもしれないと思いま
した。A>9ビュ-する時は相手の気持ちや、受け取り
方も考えながら、Xを話し、しゃべるといってもおろか
しいことで、トライやるでは相手の人がいざおろか
しい時のどのタイミングもあるので、あせっておろか
してしまうかもしれないけどがんばりたいです。トライ
やるでは自分たちでしっかりと重んずけるようにしたい
と思っています。今回の聞いたことをいかして、自信を
持って生きていきます。

新聞書き方講座を受けて

新聞書き方講座を受けて思。たことは、自分
は、文章の内容を考えたり、新聞を作。たりするの
が苦手で、全然分からなかったけど、あの、おじいさんの話を
聞いたら、少しは考えたり、作ったりできると思。た。

写真のとり方や、みだしの決め方、人に質問するときのメモ
のとり方もよく分。たから、トライやるウィークの新聞作りで、
役がてるようにする。

事前に考える質問の柱は3つにするとか、アシという姿勢で
臨むことやったり、自分の知らないことかたしこんが
分。かたし、口に埋める言葉の答えをただ言うのじゃなくして、べ
ろんねんに答えは、どうなったのかを聞いてたりしているところが……と
思。たし、あんなに楽しかったし、新聞書き方講座を受けてよか。
たなと思。いました。

新聞書き方講座を受けて

新聞を書くときに、What: なに、When: いつ、Where: どこ、
Why: なぜ、Who: だれが、How: どうやって書くのが分かりました。
それと質問を3つぐらい考えるのが分かりました。

新聞書き方講座を受けて

新聞の書き方講座を受けて
今日から、たこをいかして
トライやるウィークでいっせんし、新
聞もなつた書き方で書きたい
です。

新聞書き方講座を受けて

私は、今回の「新聞書き方講座」を受けて、新聞をつくるためには、たくさんのお話を伺いました。メモの取り方や、レイアウトの仕方、写真の撮り方、また、読者の興味をひく、タイトルの考え方などをお話いただきました。私は、今回の講座を受けて学んだことの中で、「6W2H」を特に意識して、インタビュー、新聞作りをしたいと思います。「いつ」「どこで」「誰か」「何を」「なぜ」「どのように」「どれくらい」の7個をインタビューで、おおまかにメモして、それを簡潔に分かりやすくまとめられるようにしたいです。また、誤字脱字がないように、インタビューのときに、相手に漢字を書いてもらいたいと思います。

新聞書き方講座を受けて

私は、新聞をあまり読まない、ので、
書き方が、分かってなかったけれど、
読みやす、分かりやす、新聞の書き方
を学んで良かったです。たとえば、
いつ、どこで、誰が、なぜ、どうなのか
どのように、どれくらい、現在、過去、
未来などを書く方が良、ことも
分かりました。インタビュー術は、下調
べをするが、完璧にしすぎないこと。
段取りを決めすぎないこと。聞き上手に
してしゃべりすぎないこと。など色々なこと
が分かってとてもためになりました。
インタビュー中は、先入観にとらわれない
ことも大事だと知って自分は、いつも
先入観にとらわれすぎていた、ので、もっと
クリンな気持ちを持って、インタ
ビューをして、きたいと思、います。

新聞書き方講座を受けて

今日は新聞書き方講座を受けてとても勢い
が大変だと思いましたが、どうにかしようと、いくら
困ったとしても勢いがあればとんちなことも
できると思、それからでもなせとんちなことも
できると思、たのめかという本業のかんがえ
いまいとは、「元気」だからです。元気があれば、
元気がないときにできないことも、できること
なることや、いつでもとんちなとせでもできることを
早くできるようにあることがあるからです。
今日は授業を聞かせていただきことに
ありがとうございました。

新聞書き方講座を受けて

今回の新聞書き方講座を受けて分かったことがいくつかあります。
1つ目は「インタビュー体」です。インタビューでは6W2H+時軸
を意識することを知りました。6W2Hとは、いつ、どこで、誰が、
何を、なぜ、どちらか、どのように、どれくらい、現在、過去、未来
だと分かりました。

2つ目は「相手のリズムに合わせる」です。相づち、共感をし、
知ったかぶりをしてない、素朴な質問をする。というのが分かりました。
最後は、「インタビューの後で〜こぼれ話」です。小さなことでもあ
らためて、いつごろ、何に載るが知らせる。というのが分かりました。
このようなことをひまえてトライやるの新聞をうまくかけたいいな
と思いました。

新聞書き方講座を受けて

私は、新聞書き方講座を受けて今まで"の班で作る新聞"とかは、あまりインタビューとかはなくて、なんとなくで書いていたけど、初めてちゃんとした講座を受けて新聞の書き方が分かりました。私は、あまり新聞に興味はなかったけど新聞のことを聞いて少し興味をもてました。新聞をちゃんと書いてみようと思いました。新聞の書き方講座では、新聞の書き方だけでなく、インタビューのしかたや写真の配置なども教えてくれたので新聞を書くときにいかしたいと思いました。

私は新聞書き方講を受けて、まず第1に今の1年生に伝えきりたいなと思いました。

私は、昨年から将来の夢をもちはじめました。でも、この仕事をしている人はとても少ないと思います。なのでこの仕事を知らてほしいので、私はトライやる・ウィークの間自分の知りたいことを知りつつ、この仕事に就きたいと思える人が1人でも多くいてくれるために見やすい、伝わりやすい新聞をつくりたいと思います。

インタビューをするときは、下調べをしておき本当に知りたいことだけを聴けるようにしておきたいです。

6W2Hを意識して話していきたいです。具体的に話をまとめて新聞に書きたいです。

見出しの中身、記事の書き方を今回習ったことを生かして1年生に伝えていきたいです。

新聞書き方講座を受けて

今回の話を聞いて、今までの自分新聞の書き

方は文字を写して、絵を書いただけだったけど

今回の話を聞いて、総合リポートや写真は適量が

多かったり、書く相手(読者)に書くのが大事だった

りと見る相手を考えた新聞の書き方が大切だと思い

ました。今日、新聞の書き方を教えてもらって

気付いた事は自分が満足する新聞を書く相手も

自分が満足する新聞を書くための工夫と気付きました

た。今後この教習も、その経験を色んな場面に活か

すように使いたいと思います。

私は「新聞書き方講座」を受けて思ったことは2つあります。まず1つ目は、新聞の書き方をあらかじめ知れたことで書き方がよりいっそう分かった。書き方だけではなく、インタビューするときにもどのようにしてインタビューをしたら良いかなどが分かった。

あと、見出しの内容もなるべく分かりやすく内容に合ったものを考えて書く。

2つ目は、写真のとり方です。普通にとるよりも三角形になるようにとったりバランスなどを考えてとったりして工夫をしてとると良いことが分かった。

あと一番大事なただ「普通」な写真をのせるのではなく、しっかり文章に合った写真をのせるようにする。

新聞書き方講座を受けて

私は新聞書き方講座を受けてしゅざいのしかたも色の構成と、見出しの書き方とかなどいろいろ深く考えられているんだなと思いました。実際にまわりの友だちにインタビューしてみたりとか、話し合いをしてみても難しいと思いました。質問考えて聞いてXもしてそのままかけは"簡単!"と思っていたけど"1文を12文字くらいにまとめないといけないとか、私は文を長々と書いてしまうタイプなので12文字におさめないといけないのはめっちゃ難しいと思いました。新聞だからきれいな文字で書かないといけないし、写真もはなしの内容にあつた写真をとらないといけないし、色もちゃんと決めないといけないし難しいなと思いました。英語の5W1Hを使うことも意識しないといけないし、ちゃんとしゅざいもして内容の濃い新聞に出采あがるようにがんばりたいと思います。

新聞書き方講座を受けて

私は今まで新聞に興味を持たなかったし、書いた経験もあまりなかったのでもの書き方講座を受けてとてもすこしいなと思いました。

い、しゃんで取材をしてすこい文字の量を書いてそれを1日として新聞を出すのはしんどいし本当にすこいことだと思っています。

自分かっスをするとな万人の人にぬいぬいをかけるので責任のある仕事かーと思いました。

私は小学校で新聞を書いた時、大見出し小見出しを書いてまとめたかいいと思っていたけど、相手かみやすいように、かかやすいように、興味をもつようににはできてなかったなと思うのでこれからはこうせいを考えて作ってきたいと思っています。

知らないことをかかるとすこく勉強になったと思います。今後活かしてきたいです。

自己満ではなく相手かという感じるかかかという思いかを考えると新聞を作っていきます。

新聞書き方講座を受けて

私は新聞の書き方について教えてもら前はあまり写真の
上手な取り方や新聞の間取りがよく分かりませんでした。でも
今回くわしく教えてもらって新聞はどのようにしたら分かりや
すいかや色づがいなどをどのようにしたらよいのかを学ぶこ
とができました。新聞は人が見やすいように間取りを考
えたり工夫することも大事だということも教えていただきま
した。書くときの字もきたなくてもよりから自分なりに上手に書
けばよいということも学びました。私は新聞を書くのに
トライやるウィークでのインタビューや学んだことを自分でわか
り意識しながらやることも大事だと考えました。だから自
分の事業所で特にインタビューもがんばりたいです。
新聞作りは苦手だけれど自分なりに工夫して間取りも考えて
作りたいです。神戸新聞の方に例なども使って説明してくれ
たので見出しのつけ方も分かりました。トライやるの新聞作りにこの教
えてもらったことをいかしていきたいです。

新聞書き方講座を受けて

三好さんから話を聞いて、私も、教えてもらったことを生かして、文章を書いたと思います。

たとえば、5W1Hは、いつ(When)どこ(Where)誰が(Who)何を(What)なぜ(Why)どのように(How)などに加えて、時間軸(過去⇐現在⇒未来)を意識して書くというのは、新聞だけでなく、国語の勉強の作文や、物語の要約にも使えるので、覚えておきたいな、と思います。

写真の取り方も、対象の物を三角にうつす方法だったり、対角にうつす方法を用いて、見た人がおもしろい見えるような写真を撮りたいです。そして、いまの中学1年生へ、トライやるのみよこを伝えたり、「自分もやりたいな」と思ってもらえたりする、新聞をつくりたいです。

トライヤル・ワークの新聞の書き方講座を受けて

まず、インタビュー術とか、記事の書き方、ほか、

色々おしえてくれました。

1つ1つ意味が分かりやすく、よくわかりました。

私は、三好さんが教しえてくれたことを、

いかにして、トライヤル・ワークの新聞をがんばってかきた
いと思います。

あと、一番よく分かったのは、取り方で、

矢嶋が、写真を取ったのと、ネットのいい写真を

比べると、少しネットの方がすごいので、私は、

そのすごいところをいかにして、トライヤルの写真をとって、

新聞にいい写真を乗せれるよう、がんばって

いきます。

三好さんの^{わめい}調明は、すごく分かったので、

新聞を書くとき、それをいかにして

がんばっていきます。

新聞書き方講座を受けて

新聞の書き方やインタビューのくわしい
仕方などが分かりました。

新聞の書き方は写真の使い方も
見出しの使い方を矢口おてよ方承
けです。

インタビューの仕方は下言周でするが
段取りを決め持たないか6W2H
+時間軸を意意識することなどがわか
りました。また事前に考える時間を持
てることでその穴を埋めて臨むこ
となどが分かりました。

あとはこの新聞書き方でおえおえこい
達かしたトライルするウー17の新聞を
1作りたいです。